

特定非営利活動法人
バイオマス北海道

平成 31 年度
通常総会議案書



日時：平成 31 年 4 月 26 日（金）

場所：北海道大学百年記念会館 大会議室

特定非営利活動法人バイオマス北海道

平成 31 年度総会 議事次第

1. 理事長挨拶

2. 来賓ご挨拶 北海道 環境生活部 環境局

気候変動対策課長 北村浩樹様

3. 議事

① 議長選任

② 総会出席者・委任状取りまとめの報告

③ 審議

・第1号議案 平成30年度事業報告および決算

・第2号議案 平成31年度事業計画および予算

・第3号議案 役員選任の件

④ 議長退任

4. 会員特別講演

金子孝文氏

「バイオガス電気（特に牛糞尿バイオガス）の買取制度について
考えていること」

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告および決算

参考様式(法第 28 条第 1 項関係)

平成 30 年度の事業報告書
平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業の成果

当法人の活動目的を達成するため、下記事業を中心に実施した。

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業	○バイオマス利活用講座の開催 第1回	(A) 平成30年 8月24日(金) (B)日高振興局庁舎 (浦河町) (C)2人	(D)道内市町村 担当者、関係団体等 (E)19名	114
	第2回	(A) 平成30年 12月20日(木) (B)北海道大学(札幌市) (C)5人	(D)道内市町村 担当者、関係団体等 (E)41名	
	○HP運営	(A)平成30年4月1日 ～平成31年3月31日 日まで (B)北海道大学 大学院工学研究院 (札幌市) (C)5人	(D)会員 (E)50名	5

バイオマス利 活用を推進す るための研究 開発事業	○市町村との共同研究 ・当別町燃やせるごみの組成調査 結果報告書の作成	(A) 平成30年7月 (B) 北海道大学大学 院工学研究院（札 幌市） (C) 2人	(D) 当別町	0
	○バイオマスカフェの開催 第1回 ～ 第4回	(A) 平成30年9月～平 成31年3月 (B) 北海道大学大学 院工学研究院（札 幌市） (C) 16人	(D) 会員 (E) 述べ51名	17
	○会員研修 (1) 施設視察会の開催	(A) 平成30年10月2日 (B) 道内施設 (C) 4人	(D) 会員・北大学 生 (E) 19名	125
	(2) 市内外セミナーへの派遣 ・木質バイオマス資源利用セミナ ー	(A) 平成30年7月20日 (B) TKP札幌ビジネス センター（札幌市） (C) 1人		
	・循環・エネルギー技術システム分野 第3回シンポジウム ・循環・エネルギー技術システム分野 第4回シンポジウム ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第1回セミナー及びバイオマスネッ トワークフォーラム2019	(A) 平成30年7月～平 成31年2月 (B) 北海道大学（札 幌市）・全国町村会館 （東京都） (C) 3人	(D) 市町村担当 者、関連事業者、 一般国民など (E) 49人	49
	(3) 講師派遣 ・静岡県掛川市議会議員・事務 局への当会の活動についての説明	(A) 平成30年7月17 日 (B) 札幌市 (C) 3人	(D) 掛川市議会 議員・事務局 (E) 9名	0
	・北海道・環境の未来育成事業 (主催：北海道)	(A) 平成31年1月26日 (B) 札幌市 (C) 3人	(D) 道民	

<p>その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業</p>	<p>○北海道バイオマスネットワーク会議との連携</p> <p>北海道バイオマスネットワーク会議 事例報告・検討会での報告</p> <p>○後援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環・エネルギー技術システム分野 第3回シンポジウム ・循環・エネルギー技術システム分野 第4回シンポジウム ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第1回セミナー 	<p>(A)平成30年7月19日 (B)北海道自治労会館(札幌市) (C)1人</p> <p>(A)平成30年7月～平成31年2月 (B)北海道大学(札幌市)・全国町村会館(東京都) (C)3人</p>	<p>(D)北海道バイオマスネットワーク会議会員など</p> <p>(D)市町村担当者、関連事業者、一般国民など (E)延べ330人</p>	<p>0</p> <p>0</p>
--------------------------------------	---	---	--	-------------------

(2) その他の事業

なし

H30年度 NPOバイオマス北海道 活動一覧

I. 会議等

1. 総会の開催

日時 平成30年4月26日（木）

場所 北海道大学構内 百年記念会館

2. 理事会の開催

第1回 日時 平成30年4月17日（火）事務局

3. 運営・活動方針検討委員会の開催

企画検討会 日時 平成30年5月18日（金）事務局

4. 北海道バイオマスネットワーク会議との連携

・平成30年7月19日 総会、事例報告・検討会

・平成31年2月12日 北海道バイオマスネットワークフォーラム2019

II. 事業の実施

1. バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業

(1) 地域を創るバイオマス利活用講座2019

第1回 平成30年8月24日(金)13:15～14:15

日高振興局庁舎4階講堂 （参加者18名）

「地域におけるバイオマス利活用とその意義」

佐藤昌宏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学助教）

北海道（環境生活部環境局気候変動対策課）と共催で実施

①評価・反省点

・焼却施設の更新時期にある地域に対して出前講座として実施し、一定数の参加者にバイオマスの活用に関して啓蒙できた。

・集客には道庁・振興局の方々にご尽力いただいたが、今後、工夫が必要である。

②改善点

・継続して啓もうを行うが、市町村の支援事業につなげるためには、もう一步踏み込んだ形式（例えば、勉強会）での実施が必要と考える。

第2回 12月20日(木)13:30～17:00 北海道大学工学部加ソテイア棟 （参加者41名）

1. 総論 ～バイオマス利活用～

佐藤昌宏氏（NPOバイオマス北海道 理事、北海道大学助教）

2. 家畜ふん尿のバイオガスプラントの維持管理における課題と対策

安東貴史氏（興部町産業振興課農業振興係 バイオマス事業推進室主事）

3. 寒冷地における生ごみ堆肥化処理施設の維持管理の課題と対策

島田義久氏（株式会社ミライエ 代表取締役）

4. 質疑応答＋全体討議

司会 川嶋幸治氏（NPOバイオマス北海道 理事）

①評価・反省点

- ・出席者が40名で、昨年より5名減少した。開催日6日前の段階で出席申込が27名と非常に少なかったが、事務局ほかの再三再四の案内でなんとか一応の出席者数を達成することができた。
- ・開催日が12月20日で年末の繁忙期と（雪による）交通事情が悪いことが重なったことも、申込の出足が遅かったと推測される
- ・講演のテーマをこれまで実施していなかった「技術的維持管理上の問題点」に設定したことで、これまで（導入計画など）と異なった観点からの討議ができた
- ・全体討議では、出席者からの質問と講師による回答という双方向のやり取りにより、会場は盛会であったと評価している。出席者に質問シートを予め提出していただく方法が有効であったと考える
- ・主テーマは主催側で設定したが、講演内容は講師へ一任する形となった。主催側も現地の稼動状況について理解した上で（講演内容について）講師と打合せして決定した方がよりよい内容になったと考える
- ・講師の旅費や講演料の支払いを決める際に、基準が明確でないため時間を労した

②改善点

- ・出席者を増やすためには、年末や冬期を避けた時期にした方がよい
- ・講師の旅費や講演料は、規則やガイドラインを（文書により）作成しておくことが望ましい
- ・可能な限り事前に講演内容の（プラントの）現地視察を行なうことが必要
- ・総論の部分で、これまでの研究成果（バイオガスプラント導入の効果、例えば、ふん尿作業時間の軽減、飼育頭数増加）を入れる。

2. バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

（1）市町村との共同研究

当別町燃やせるごみの組成調査（平成29年度実施）の結果報告書を作成し、JORAの研修で計画を立てる際の基礎データとして活用された

（2）バイオマスカフェ

① 実施結果

- ・第1回：平成30年9月25日（火）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
話題「エネルギーの将来とバイオガスエネルギー政策」
スピーカー：金子孝文氏（コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド
バイオガス事業 顧問）
参加者：16人（会員以外含む）
- ・第2回：平成30年11月30日（金）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
話題「可燃ごみ（一般・事業系）のバイオマスプラントの視察報告」
スピーカー：小崎洋一氏（株式会社 苫小牧清掃社）
参加者：12人

- ・第3回：平成31年1月9日（水）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
 話題「自治体におけるバイオマス導入の体験談」
 スピーカー：諏訪田正美氏（株式会社 日水コン）
 参加者：13人
- ・第4回：平成31年3月15日（金）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
 話題「バイオマスと私 ～これまでのバイオマスとの関わり～」
 話人：福田 陽一郎 氏（(地独)北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター）
 参加者：10人

② 評価点

- ・3年目となるが、例年通り、話題提供者の方には充実した資料をご準備いただき、幅広い話題について活発な議論ができた。

課題点

- ・従来から指摘があるが、参加メンバーが10名余りでほぼ固定的である。今年度は早めに話題提供者やタイトルを確定し案内することを心がけたが、状況は変わらないように見受けられた。
- ・第1回は会員外の参加者も募ったが、会員外の参加は話題提供者自らが声掛けした3名程度に留まった。

③ 今後についての提案

- ・試行的に、休日開催も実施して参加者の動向を探ってはどうか？
- ・次第に話題提供者の選定に苦勞していくことが予想され、話題提供候補対象者としては今後、未実施会員のアイウエオ順に依頼をかけていくなどの方針を建ててはどうか？

(3) 会員研修

施設見学会

(実施概要)

- ・施設見学会は、2018年10月2日（火）に①ニセコ町堆肥センター②ニセコ環境(株)琴平リサイクルセンターの2施設を視察しました。参加者は北大工学部の学生を含め19名でした。

(評価・反省点)

- ・地域で発生する生ごみや畜糞などの有機物資源の堆肥化をはじめ、廃棄物の中間処理におけるリサイクル製品の製造、販売事業の視察を通じて、バイオマス利活用の理解を深める機会となった。
- ・昨年に引き続き2回目の実施であったが、前回の視察内容と重ならないよう視察場所の選定に苦勞した。
- ・視察場所の企画に当たっては、会員の要望を早期に集約する必要がある。

市内外開催セミナーへの派遣

- ・木質バイオマス資源利用セミナー
 日時：平成30年7月20日（金）
 於：TKP札幌ビジネスセンター
 主催：北海道・（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会

(以下は北大のセミナー)

- 循環・I初年[※]-技術システム分野 第3回シンポジウム
日時：平成30年7月25日(水)
於：全国町村会館(東京都千代田区)
主催：北大大学院工学研究院 循環・エネルギー技術システム分野
- 循環・I初年[※]-技術システム分野 第4回シンポジウム
日時：平成30年9月4日(火)
於：北大学術交流会館
主催：北大大学院工学研究院 循環・エネルギー技術システム分野
- バイオマスコミュニティプランニング分野 第1回セミナー及びバイオマスネットワークフォーラム2019
日時：平成31年2月12日(火)
於：北大学術交流会館
主催：北大大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野及びバイオマスネットワーク会議

講師派遣

- 「静岡県掛川市議会議員・事務局への当会の活動についての説明」
日時：平成30年7月17日 於：北海道庁環境生活部
実施者：藤田哲男
- 「北海道・環境の未来育成事業」
日時：平成31年1月26日 於：北海道建設会館 主催：北海道
実施者：渡部和正
講演：「資源の有効活用及びこれからの環境保全について」

3. その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

北海道バイオマスネットワーク会議との連携

北海道バイオマスネットワーク会議 事例報告・検討会での報告
日時：平成30年7月19日(木) 於：北海道自治労会館
主催：北海道バイオマスネットワーク会議
実施者：藤田哲男

後援

平成30年7月25日 北海道大学寄附分野 循環・I初年[※]-技術システム分野 第3回シンポジウム
(全国町村会館(東京都千代田区))
「バイオマスの循環とエネルギー ～地域づくりのための技術システム提案」 96名

平成30年9月4日 北海道大学寄附分野 循環・I初年[※]-技術システム分野 第3回シンポジウム
(北海道大学 学術交流会館講堂)

「『循環・エネルギー技術システム』から『バイオマスコミュニティ
プランニング』へ」 106名

平成31年2月12日 北海道大学寄附分野 バイオマスコミュニティプランニング 分野 第1回セミナー
及び 北海道バイオマスネットワークフォーラム2019 128名
(北海道大学 学術交流会館講堂)

講演「環境省におけるバイオマス地域内利用の推進方策」

講演「バイオマス資源化センターにおけるごみの燃料化」

講演「南三陸町における包括的資源循環を軸とする官民連携・住民主
体のまちづくり」

総合討論 「廃棄物・バイオマスを活用した地域における新たな価値の
創造」

H30 年度 活動計算書
H30年4月1日からH31年3月31日まで

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費			
フェロー個人会員会費 (14人)	70,000		70,000
一般個人会員会費 (14人)	28,000		28,000
企業・団体会員 (16企業・団体)	480,000		480,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3. 受取助成金等			
受取助成金等	0		0
4. 事業収益			
事業収益等	0		0
5. その他収益			
受取利息	16	0	16
経常収益計	578,016	0	578,016
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	0		0
旅費交通費	111,064		111,064
借料	86,400		86,400
負担金	49,000		49,000
会議費	59,282		59,282
予備費	2,000		2,000
その他経費計	307,746	0	307,746
事業費計	307,746	0	307,746
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	207,900		207,900
人件費計	207,900	0	207,900
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	1,445		1,445
交通費	31,100		31,100
通信費	6,966		6,966
会議費	0		0
予備費	869		869
その他の経費計	40,380	0	40,380
管理費計	248,280	0	248,280
経常費用計	556,026	0	556,026
当期経常増減額	21,990	0	21,990
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
未収会費償却	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	21,990	0	21,990
前期繰越正味財産額	1,768,486	0	1,768,486
次期繰越正味財産額	1,790,476	0	1,790,476

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

	特定非営利活動に係る事業			その他の事業		事業部門計	管理部門	合計
	普及啓発・事業	研究開発事業	その他必要と認められる事業	受託事業	支援等の事業			
I 経常収益								
1. 受取会費						0	578,000	578,000
2. 受取寄付金						0	0	0
5. その他収益						0	16	16
経常収益計	0	0	0	0	0	0	578,016	578,016
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0				0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	0	0				0		0
旅費交通費	108,364	2,700				111,064		111,064
借料		86,400				86,400		86,400
負担金		49,000				49,000		49,000
会議費	5,500	53,782				59,282		59,282
予備費	0	2,000				2,000		2,000
その他経費計	113,864	193,882	0	0	0	307,746	0	307,746
事業費計	113,864	193,882	0	0	0	307,746	0	307,746
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当						0	207,900	207,900
人件費計	0	0	0	0	0	0	207,900	207,900
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	1,445	1,445
交通費						0	31,100	31,100
通信費						0	6,966	6,966
会議費						0	0	0
雑費						0	869	869
その他経費計	0	0	0	0	0	0	40,380	40,380
管理費計	0	0	0	0	0	0	248,280	248,280
経常費用計	113,864	193,882	0	0	0	307,746	248,280	556,026
当期経常増減額	△ 113,864	△ 193,882	0	0	0	△ 307,746	329,736	21,990

H30年度 財産目録
H30年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
銀行普通預金	1,795,476		
未収金			
未収金費	0		
流動資産合計		1,795,476	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,795,476
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	5,000		
流動負債合計		5,000	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
正味財産			1,790,476

H30年度 貸借対照表
H31年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,795,476		
流動資産合計		1,795,476	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,795,476
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	5,000		
流動負債合計		5,000	
2. 固定負債			
該当無し	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,768,486	
当期正味財産増減額		21,990	
正味財産合計			1,790,476
負債及び正味財産合計			1,795,476

会計監査報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道定款第15条6項に基づき、本法人の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの収支決算につき関係書類、帳簿の監査を行った結果、適正であると認める。

平成31年4月2日

特定非営利活動法人バイオマス北海道

監事

角田 明彦



第2号議案 平成31年度事業計画および予算

平成31年度事業計画書

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業実施の方針

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業
- (3) その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 月日	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業	○バイオマス利活用講座の開催及びITを利用した講座の公開	平成31年4月1日 ～平成32年3月31日 日まで	札幌市内2回 道内他市町村2回	20名	道内市町村担当者、関係団体等 200名	150
バイオマス利活用を推進するための研究開発事業	○北大寄附分野「バイオマスコミュニティプランニング」との連携事業	平成31年4月1日 ～平成32年3月31日 日まで	道内他市町村	10名	道内市町村	500
	○市町村との共同研究	平成31年4月1日 ～平成32年3月31日 日まで	道内他市町村2か所程度	10名	道内市町村担当者等 30名	100
	○北海道バイオマスネットワーク会議との連携事業	平成31年4月1日 ～平成32年3月31日 日まで	道内	10名	道内市町村担当者、関係団体100名	0

その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業	○イベント補助 (イベント後援など)	平成31年4月1日 ～平成32年3月31 日まで		10名	道内市町村担当者、一般道民など 50名	0
	○メルマガの発行	平成31年4月1日 ～平成32年3月31 日まで	北海道大学大学院 工学研究院 (札幌市)	12名	本NPO会員50名	0
	○バイオマスカフェの 開催(4回)	平成31年4月1日 ～平成32年3月31 日まで	北海道大学大学院 工学研究院 (札幌市)	20名	本NPO会員等50名	50
	○会員研修 ①視察会(1回)	平成31年4月1日 ～平成32年3月31 日まで	道内 市内	4名	会員50名	135
	②市内開催セミナー への派遣 ③市外開催セミナー への派遣		市外	20名 6名	会員延べ50名 会員10名	50 100

新規事業提案「バイオマスコミュニティプランニングとの協働」

<バイオマスコミュニティプランニング分野 (Bio-Com.P) の活動>

北海道大学バイオマスコミュニティプランニング分野 (Bio-Com.P) では、「廃棄物等およびバイオマス資源の循環・エネルギー利用を通じて、持続可能な地域コミュニティを計画するための技術・社会システムを産官学の連携で開発し提案する。」

Bio-Com.P 分野では以下のようなワーキンググループ (WG) を作り、活動をする計画である。

- ・バイオマスタウン実現のための、自治体向け導入ケーススタディ
- ・バイオマス利活用施設を導入することで生まれる「新たな価値」の定量化
- ・バイオマス利活用事業の壁を乗り越える
- ・バイオマス利活用に資する革新的技術

NPO バイオマス北海道では、技術アドバイザーとして上記 WG に参画することとする。

具体的には、下記のような Bio-Com.P 分野の活動に積極的に参加する。

- ・定期的開催される勉強会への参加・意見交換・講演
- ・WG 活動への参加
- ・現地調査への技術アドバイザーとしての同行

以上の活動を通して、バイオマス利活用の推進に貢献する。

H31年度 活動計算書
 H31年4月1日からH32年3月31日まで
 特定非営利活動法人 バイオマス北海道
 （単位：円）

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
一般個人会員会費（15人×2,000円）	30,000		30,000
フェロ個人会員会費（14人×5,000円）	70,000		70,000
企業・団体会員会費 （17団体×30,000）	510,000		510,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		0
4 事業収益			
事業収益等	0		0
5 その他収益			
受取利息	0		0
経常収益計	610,000	0	610,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	50,000		50,000
旅費交通費	450,000		450,000
借料	100,000		100,000
負担金	400,000		400,000
会議費	85,000		85,000
予備費	100,000		100,000
その他の経費計	1,185,000	0	1,185,000
事業費計	1,185,000	0	1,185,000
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	210,000		210,000
人件費計	210,000	0	210,000
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	10,000		10,000
通信費	10,000		10,000
交通費	30,000		30,000
会議費	150,000		150,000
予備費	50,000		50,000
その他の経費計	250,000	0	250,000
管理費計	460,000	0	460,000
経常費用計	1,645,000	0	1,645,000
当期経常増減額	△ 1,035,000	0	△ 1,035,000
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 1,035,000	0	△ 1,035,000
前期繰越正味財産額	1,790,476	0	1,790,476
次期繰越正味財産額	755,476	0	755,476

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	普及啓発・事業	研究開発事業	その他必要と認められる事業	受託事業	支援等の事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	610,000	610,000
2. 受取寄付金						0		0
3. 受取助成金等	0					0		0
4. 事業収益	0			0	0	0		0
5. その他収益						0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	610,000	610,000
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0			
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	50,000	0				50,000		50,000
旅費交通費	100,000	250,000	100,000	0	0	450,000		450,000
借料	0	0	100,000			100,000		100,000
負担金	0	350,000	50,000			400,000		400,000
会議費	0	0	85,000			85,000		85,000
予備費	50,000	50,000	0			100,000		100,000
その他経費計	200,000	650,000	335,000	0	0	1,185,000	0	1,185,000
事業費計	200,000	650,000	335,000	0	0	1,185,000	0	1,185,000
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
人件費計	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	10,000	10,000
通信費						0	10,000	10,000
交通費							30,000	30,000
会議費							150,000	150,000
予備費						0	50,000	50,000
その他経費計	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000
管理費計	0	0	0	0	0	0	460,000	460,000
経常費用計	200,000	650,000	335,000	0	0	1,185,000	460,000	1,645,000
当期経常増減額	△ 200,000	△ 650,000	△ 335,000	0	0	△ 1,185,000	150,000	△ 1,035,000

第3号議案 役員選任の件

役員選任の件

(50音順)

	役名	氏名
	理事	阿賀 裕英
	理事	石井 一英
	理事	伊藤 俊裕
新	理事	落合 知
	理事	川嶋 幸治
	理事	佐藤 昌宏
	理事	福間 博史
	理事	藤田 哲男
	理事	古市 徹
	理事	町村 均
新	理事	松井 徹
	理事	渡部 和正
	監事	江頭 恵一
	監事	角田 明彦
新	監事	坂田 和則

(参考) 退任役員一覧

(50音順)

理事	岩原 榮
理事	加賀 美穂
理事	金子 孝文
理事	谷川 昇
理事	藤山 淳史
理事	山森 功一
監事	松井 徹